

公立高校入試情報 秋田県

【数学】

令和6年度秋田県入試の全体傾向

- 大問数は5問、小問数は25問でほぼ例年通り。
- 大問1は計算を含む各領域の小問集合(15問から8問を学校選択)、大問2は作図を含む小問集合、大問3は1次関数の利用、大問4は数の規則性、確率、大問5は相似と三平方の定理、または相似(2問から1問を学校選択)から出題。
- 図形の証明や、関数と図形の融合問題、また、証明以外の記述問題も例年出題される。今年は、度数分布表の最頻値について説明する問題、比例か1次関数か考え方を自分で選んで説明する問題が出た。

■ 証明問題の出題

- ・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

■ 関数の利用の問題の出題

- ・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

★秋田県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	单元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1年内容	2年内容	3年内容	出題形式別の傾向
1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●	●	●	●
	方程式	●		●	●
	比例と反比例		●		●
	平面图形	●	●	●	●
	空間图形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●	●	●	●
2年内容	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●	●	●	●
	1次関数	●	●	●	●
	图形の調べ方	●	●	●	●
	三角形		●	●	
	平行四辺形	●			●
	確率	●	●	●	●
3年内容	データの比較と箱ひげ図			●	●
	式の計算	●	●		●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な图形	●	●	●	●
	円の性質	●	●	●	●
出題形式別の傾向	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査		●		
	大問数	5	5	5	5
	小問数	25	24	23	25
	記述問題	图形の証明(説明) その他の説明・証明など 立式・解法の過程の記述 作図(图形) 作図(グラフ)	1 1 2 1 1	1 1 2 1 1	1 2 2 1 1